

# 契約額に係る概念図（仕様書 5 (13)関係 別紙 2）

## ■ 各参加機関ごとの費用計上の考え方

○ 航空機・宿泊費（A） → 各参加者の実費を計上

○ 共通経費（B ※A以外の経費（現地移動経費、人件費など））

→  $(Bの総額) \times \frac{(各参加機関の延べ宿泊日数)}{(延べ宿泊日数の合計)}$

## ■ 算出式（下表のとおり）

参加機関（人数）	ルクセンブルク・デンマークにおける延べ宿泊日数	航空機・宿泊費（A）	共通経費（B）
札幌市（7）	30	実費	$B \times 30/72$
参加機関①（2）	4	実費	$B \times 4/72$
参加機関②（2）	8	実費	$B \times 8/72$
参加機関③（3）	15	実費	$B \times 15/72$
参加機関④（1）	5	実費	$B \times 5/72$
参加機関⑤（1）	5	実費	$B \times 5/72$
参加機関⑥（1）	5	実費	$B \times 5/72$
合計（17）	72		

札幌市との契約額の基となる部分

各参加機関への請求額の基となる部分  
※札幌市との契約額には含まない

## ■ 留意点

・ 訪問団の参加者は最大25名を予定しているが、航空券や宿泊先を独自に手配する参加者（8名を想定）については、行程が確定した時点で、各参加機関とそれぞれ契約が必要になるため、留意すること。